

# 算数授業のめあてとポイント

令和8年3月号

学校図書対応

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにしましょう。

※「単元のめあて」枠内の漢字に、ルビを振っている箇所があります。ひらがなと漢字のどちらを使うかは、学習進度などを勘案して指導者で判断して下さい。

(K・・・啓林館, G・・・学校図書, T・・・東京書籍)

学年	単元	単元のめあてと授業のポイント
1年	下巻 <sup>18</sup> かず しらべ	◎単元のめあて(板書例) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ものの かずの わかりやすい あらわしかたを かんがえて、 はなそう。</div>
	同様単元 K7月 <sup>8</sup> T9月 <sup>6</sup>	◎授業のポイント ・物の個数を、絵や図の大きさをそろえて種類ごとに均等に並べて表すようにする。 このことで、身の回りの事象に関する数の大小関係を分かりやすく表したり その特徴を読み取ったり、できるようにする。 ・2年 <sup>1</sup> 「ひょうとグラフ」に発展する。 【小学校学習指導要領(平成29年告示)解説算数編 p.125D(1)参照】
	下巻 <sup>19</sup> 1年の まとめ	・指導者が提示した問題を解くだけでなく、「10が7こと1が6こ・・・」等問題作りをすることで、数の構成について自ら理解が深められるようにする。 ・計算の習熟を図ったり、演算決定の問題の理解を深めたりする。
	下巻 プログラ ミング～	・順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
2年	下巻 <sup>20</sup> 2年の まとめ	・1年間に身に付けた知識技能を活用して、2年のまとめができるようにする。
	下巻 プログラ ミング～	・順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
	下巻 今の自分 を知ろう	・日常の事象を算数の問題と捉えて問題解決する。
3年	図を使って問題を考えよう	・テープ図→線分図→複数軸の数直線的図(仮称)→複数軸の数直線の図のように 数量の関係を捉える図を徐々に抽象化して、児童の理解が つながることが大切である。 *複数軸の数直線図(仮の名称)では、数の大きさを「数の幅」と「数の位置」の両方で示している。
	下巻 <sup>18</sup> しりょう の活用	◎単元のめあて(板書例) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">調べたいことに合った整理のしかたを考え、表やグラフに表して読み取り、せつ明しよう。</div>
	同様単元 K6月 <sup>6</sup> T6月 <sup>6</sup>	◎授業のポイント ・2年では、データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察してきた。本単元では、これに加えて、 <u>見いだしたことを表現することが</u> できるようにする。 ・p.130では、「組ごとの好きな給食のメニューを調べよう。」などの問題をもち、 <u>それに応じて「組ごとの好きな給食のメニューの違いを調べる。」という観点を</u> 設けて、表やグラフに表す。そして、好きな給食のメニューには、 <u>共通点や違いがある</u> などのデータの特徴や傾向を捉えて、その背景を、家庭での食習慣や外食での体験などから考察していくようにする。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ p. 131 では、「組ごとの好きな給食のメニューの違いが良く分かるようにしたい。」とか「3年全体の好きな給食のメニューを調べたい。」等の<u>問題</u>をもち、「<u>それぞれの問題に応じた表やグラフに表して調べる。</u>」という<u>観点</u>を設けて、表や棒グラフに工夫して表す。そして、これに加えて表やグラフの<u>どの部分</u>からデータの<u>特徴や傾向</u>を見いだしたのかや <u>その背景</u>をどう考えたのかを、<u>学級内で発表し説明</u>できるようにする。</li> <li>・ p. 132～133 では、これまでに学んだことを生かして、<u>新たな問題</u>や <u>それに応じた観点</u>を設け、表やグラフの<u>どの部分</u>からデータの<u>特徴や傾向</u>を見いだしたのかや <u>その背景</u>をどう考えたのかを、<u>学級内で発表し説明</u>できるようにする。</li> </ul>
	下巻⑱ そろばん 同様単元 K3月 T3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そろばんの仕組み(5珠)に着目し、指の数の使い方や珠の運び方には あまりこだわらず、数の多様な見方を用いた計算の仕方を考えることができるようにする。  <math>2 + 4 \rightarrow 2 + \textcircled{5} - 1</math>    <math>8 - 4 \rightarrow 8 - \textcircled{5} + 1</math> た  <math>9 + 2 \rightarrow 9 + \textcircled{10} - 8</math>    <math>11 - 3 \rightarrow 11 - \textcircled{10} + 7</math></li> </ul>
	下巻⑳ 3年の まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年上巻の教科書を持ってきて、児童自身が 振り返りながら学習することができるようにする。</li> <li>・ 単位換算や時間の計算について定着を図るようにする。</li> </ul>
	下巻 プログラ ミング～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 順序よく筋道を立てて考えられるようにする。</li> </ul>
4 年	下巻㉑ しりょう の活用 同様単元 K4月㉒ T4月㉒	<p>◎単元のめあて(板書例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>目的に合ったグラフのかき方を考え、特ちょうを読み取って、<sup>まづ</sup>説明しよう。</p> </div> <p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラフを描く等の技能中心の授業をするのではなく、まず「アイスクリームに使う金額はどんなことと関係があるのか。」という<u>問題</u>を解決するという<u>目的</u>をもつ。 次に「気温に関係しているのではないか。」という<u>見通し</u>を立て、「月ごとに、使う金額と気温を調べる。」という<u>観点</u>をもって<u>計画的にデータを集めていく</u>。 そして、「金額と気温」という<u>データの特徴や傾向</u>に着目し、<u>金額は時系列データではないので棒グラフに 気温は時系列データなので折れ線グラフにと、データの特徴や傾向に着目して問題を解決するために適切なグラフを選んで表していく</u>。 以上のように<u>複数のグラフを組み合わせると</u>、「気温が上がれば使う金額も上がる。」という<u>データの特徴や傾向</u>を読み取ることができる。さらに「12月がこの特徴に反する。」<u>背景</u>を考える等、<u>結論について考察</u>することも大切である。 【小学校学習指導要領(平成29年告示)解説算数編 p.222～223D(1)ア(イ)イ参照】</li> </ul>
	下巻㉑ 4年の まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年上巻の教科書を持ってきて、児童自身が 振り返りながら学習できるようにする。</li> <li>・ 概数の求め方や数の構成について 習熟を図るようにする。</li> </ul>
	プログラ ミング～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 順序よく筋道を立てて考えられるようにする。</li> </ul>

5 年	下巻⑳ データの活用 同様単元 K1月⑮ T1月⑮	◎単元のめあて(板書例) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">データの傾向をグラフから読み取り，新たな問題を考えて，説明しよう。</div> ◎授業のポイント ・統計的な問題解決の場面では，①問題を設定する②計画を立てる③データを集めて分類整理する④グラフや表に表して分析する⑤問題の結論をまとめる。 この①～⑤の手順を経験できるようにする。 ・データの傾向をグラフから読み取ることにとどまらず，グラフに書かれていないことを補って詳しく読み取ったり，輸入率が下がっているのに消費量が増えている理由を話し合ったりして，結論について多面的に捉え，考察できるようにする。
	下巻㉑ 5年のまとめ	・4年の教科書を持ってきて，児童自身が振り返りながら学習できるようにする。
	プログラミング～	・順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
6 年	別冊 中学校へのかけ橋	・2月号参照

<お知らせとお願い>

「算数教育ネットワーク岡山」でHPを検索して，毎月の「算数授業のめあてとポイント」や

「算数教育 情報コーナー」等をご覧いただき，日々の実践に役立ててください。

なお，これらについてのご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は  
seiden\_atmark\_po.harenet.ne.jp まで Mail でお知らせ下さい。(atmark\_を@に直して下さい。)